



キックオフイベントでサクランボ狩りをする長崎知事と静岡県の川勝知事

「バイ・ふじのくに」で旬の特産品を買って生産者を支援

新型コロナウイルス感染症の影響で、本県の農畜水産物の売り上げも大きな打撃を受けています。これまで県では、県産果実や野菜をパックにして配送販売を企画するなど、生産者支援に取り組んできました。そして5月からは、静岡県と協力して、両県の旬の農畜水産物などを相互に購入し合う「バイ・ふじのくに」の取り組みが始まっています。この取り組みにより、生産者をさらに支援するとともに、両県の物的・人的交流を積極的に推進していきます。

「バイ・ふじのくに」を合言葉に 山梨・静岡県が協力し助け合う

新型コロナウイルス感染症により、山梨・静岡県両県の農畜水産物の売り上げが落ち込む中、静岡県の川勝知事からの提案で、富士山を取り囲む両県の旬の農産物や海産物などを互いに購入し生産者を支援する取り組み「バイ・ふじのくに」が始まりました。「バイ」は、英語で「買う（BUY）」と「寄り添う（BY）」をかけて「買ってつながる」を意味します。

5月に南アルプス市で開催されたキックオフイベントでは川勝知事が来県してサクランボ狩りを、6月には長崎知事が静岡県沼津市の内浦漁協直営店を訪問してアジの試食をするなど、二人の知事がそろって両県の特産品をアピールし、また、互いの県の特産品を味わいながらアイデアを出し合い、今後の協力方法について意

見交換しました。

本県では新型コロナウイルス感染症の影響により安い物に苦労している消費者や、売り上げが低迷する生産者などの支援につながるため、農畜水産物を詰め合わせた「愛情♡やまなし農産物パック」を大都市圏などに向けて販売しています。今回、バイ・ふじのくにの取り組みを機に両県の食材を組み合わせたメニュー「ふじのくに愛情パック」を企画しました。他にも、岡島百貨店では静岡県産マスクメロンの販売会が、スーパーのオギノでは静岡フェアが開催されました。さらに、静岡伊勢丹では南アルプス市産サクランボの販売会、オギノの静岡県内の店舗では山梨フェアが催されるなど、両県の魅力ある特産品の販売やPRを進めてきました。今後も、両県内に特設会場を設けて、互いの特産品を販売する物産市を開催する予定です。

9月7日時点での情報を基に作成されています。

「バイ・ふじのくに」の取り組み



静岡伊勢丹で開催された南アルプス市産サクランボの販売会



スーパーのオギノでは静岡県内店舗で山梨フェア(右) 県内店舗で静岡フェア(左)を開催



静岡特産のアジを使った料理を試食する両県知事



岡島百貨店で販売された静岡県産マスクメロン



両県で共通使用している「バイ・ふじのくに」ロゴマーク



両県の食材を組み合わせた「ふじのくに愛情パック」

静岡県との人的交流も活発に

新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの影響で、首都圏からの観光客が減少しています。しかし、山梨と静岡の間には往来自粛が求められていないことから、バイ・ふじのくにの取り組みの一環として、中部横断自動車道を活用するなどした人的交流も推進しています。

そこで、モモやブドウなどが旬を迎えるこの時期に、観光客の減少で苦しい経営状況が続いている観光果実園を支援する「バイ・ふじのくにやまなし観光果実園

園特典キャンペーン」に取り組んでいます。この取り組みは、キャンペーンに参加する県内の観光果実園を訪れた静岡県の皆さんに、特典として、観光果実園が独自に企画した料金割引やプレゼントなどを提供するものです。観光客の本県への訪問を促し、観光果実園の売り上げ向上につながるものと期待されています。

さらに、両県の文化交流の促進を目的とした、県立文化施設の観覧料などを割引するキャンペーンを実施するなど、さまざまなチャンネルで両県の人的交流を活性化させ、幅広い支援へ展開しています。

「やまなし観光果実園特典キャンペーン」に期待

当園のお客さんは、これまで東京を中心とした関東圏からお越しになる団体客が約8割を占めていました。しかし、新型コロナウイルス感染症により団体客のキャンセルが相次ぎ、個人客の獲得が急務となりました。そこで、感染予防対策を進め、インターネットを使った情報発信も続けていますが、1つの企業にできることには限界があります。

今回「バイ・ふじのくに」に関連し、これまで少なかった静岡県からの個人客の誘客につながる「やまなし観光果実園特典キャンペーン」に参加して、そのチラシを持った個人のお客さんも増えてきました。

来年、中部横断自動車道が全線開通すれば、山梨県と静岡県の間は交通の利便性がさらに高まります。グリーン・ゾーン認証も取得して感染予防対策にも取り組んでいますので、このキャンペーンを機に訪れていただいたお客さんが、来年以降、リピーターとなってくださることを期待しています。



御坂農園グレープハウス 常務取締役
上野 泰宏さん